

未来を築く人材を採用

@ 東京都

## 世界を比較対照しながら 多角的な視野を養う。

私は高校生の時から海外とつながる仕事がしたいと考えていました。香川大学を選んだのは、経済学部の地域社会システム学科なら、経済面だけでなく社会面や文化面等、様々な視点で世界を比較対照しながら勉強できると思ったからです。今、世界各国の社会インフラを支える建設業界で働いていますが、学生時代に学んだ「一歩引いて多角的に物事を見る」視点が役立っています。

あらためて振り返ってみると、香川大学は自然が豊かで、勉学に集中できる環境が整っていたことがわかります。学生の中に、「みんなで協力して勉強・部活に励もう!」という和気あいあいと



### 大成建設株式会社 村上 純基

(2013年3月経済学部卒業)

愛媛県生まれ。松山中央高校卒。2013年香川大学経済学部地域社会システム学科卒業。大成建設株式会社の本社にて人事部の採用担当に従事。

した雰囲気があることも良かったですね。

現在は人事部の採用担当として、時代の礎を築いていくことの大変さやその先にある喜びを、一人でも多くの学生さんに知ってもらおう仕事をしています。その立場からみなさんに伝えたいのは、大学生活を充実したものにするのも、中身の無いものにするのも、自分次第だということです。香川大学では、やる気のある人が挑戦できる様々な門戸が開かれています。みなさんが世界に貢献できる人物に成長できることを期待しています。

海外の人々が喜ぶオムツを

@ 香川県

## 挑戦のための環境は整っている。 あとは自分の志ひとつ。

私の仕事は、海外向けの赤ちゃん用オムツの商品開発です。新しい製品や製品改良のアイデアを見つけ、商品になるまで試行錯誤を繰り返しています。何度も発売予定の国に出向き、消費者の声を耳を傾けながら、世界の人々がより衛生的で快適な生活を送れるように日々奮闘しています。

香川大学で学べて良かったと思うのは、「挑戦させて貰える環境があった」ことです。海外や国内での学会発表の経験や、学会で賞を頂いた経験から努力する楽しさを知り、物事に対する視野が広がりました。学科に女子が1人しかいなかったことには驚きましたが、先生方に恵まれ、学部内外問わず沢山支えて



### ユニ・チャーム株式会社 長瀬 紀子

(2012年3月大学院工学研究科修了)

宮崎県生まれ。宮崎大宮高等学校卒。2010年香川大学工学部卒、2012年香川大学大学院工学研究科修了。ユニ・チャーム株式会社Global開発本部で商品開発を担当。

くれる仲間もでき、大学院までの6年間を楽しく過ごせました。恩師からは、考える習慣や研究の進め方など、今の自分の基礎となる部分を教えてもらいました。違う分野に就職した今でもとても役立っています。

大学生活は、「目的・目標」を持つことでいくらでも変わってきます。時間は沢山ありますので、自分の志ひとつで可能性が広がります。まずは目的を持って素敵な大学生活を送ってください。応援しています。

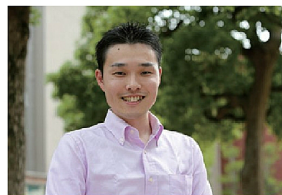
開発途上国の人々のために

@ 東京都

## 幅広い受け皿の中から 自分の道を見つける。

私は貧困削減の専門家として、開発途上国の人々の生活を少しでも改善するための助けとなる仕事をしています。少し変わったキャリアですが、香川大学法学部での学びの中で、自分の進む道を見つけました。

高校を卒業する時点では、私は自分の人生のすべてを決めることはできませんでした。そういう人間にとっては、香川大学の授業の受け皿の広さはありがたいです。私の場合は、国際協力やアジアの開発、平和学などの授業を通して貧困問題に興味を持ち、夏休みなどを利用して実際に東南アジアに出向いてみました。ボランティア活動にも参加し、その経験から貧困削減に



### JICA 敦賀 一平

(2008年3月法学部卒業)

北海道生まれ。帯広柏葉高等学校卒。2008年香川大学法学部卒業。その後、英国サセックス大学の大学院を経てJICA職員となる。

役立つことを仕事にしたいと考えるようになりました。

今の職場は、多国籍の方とディスカッションをする機会が多いのですが、私はそこでも積極的に議論に参加できています。これは、香川大学の少人数制の授業で養われた力です。まず手を挙げることから始める議論への関わり方の姿勢が、学生時代に身に付きました。

私は、香川大学で自分の生き方に出会うことが出来ました。みなさんも香川大学で、自分らしい生き方を見つけてください。いつか同窓生としてお会いできることを楽しみにしています。